



イラク復興支援群活動報告

17. 10. 16

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 般 (10月16日)

◎ サマーワ主力

- 人員・武器・装具、異状なし（但し、眼内異物により1名KW後送中（施設隊 [REDACTED]））
- 警備態勢： [REDACTED]
- 人道復興支援関連
 - ◆ 医療
 - －外務省等との調整
 - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
 - ・ 学校の改修：
 - －11カ所（サマーワ×7、ワルカ、ルメイサ、ヒラール、ヒドル）での役務作業
 - ・ 道路の改修：
 - －4カ所（サマーワ×2、ルメイサ、スウェイル）での役務作業
 - ・ PHCの改修：
 - －11カ所（サマーワ×2、ヒドル×2、マジット×2、ダラージ、ルメイサ、ワルカ×3）での役務作業
 - ・ 給水関連施設の改修：
 - －2カ所（ワルカ、ルメイサ）での役務作業
 - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - －3カ所（サマーワ×2、ルメイサ）での役務作業
 - ・ 清掃事業関連施設の改修：
 - －1カ所（サマーワ）での役務作業
- 宿营地関連施設の整備
 - ・ 厚生施設内装改修
 - ・ 発電機再配置
 - ・ 宿营地内側溝整備
 - ・ [REDACTED]
 - ・ 第2回現況調査
 - ・ コンテナスキャナ車交換（第2ゲート）
 - ・ コンテナスキャナモータ交換（第2ゲート）

全 般 (10月16日)

- 10月16日現在の雇用人員
計499名（累計：322,758名） 細部別表「雇用者」参照
- その他（特記事項）
 - ・ イラク国民の祝日（13日～16日）間の業務態勢
別紙「宿营地内活動（16日）」
 - ・ 対外発信関連：10月号原稿調整（宿营地）
 - ・ 供与RO浄水機により給水車延べ20両に対し約304t（約67,556人分）が配水された。
10月16日まで計約47,567t（約10,570,445人分）配水（4.5リットル/人・日換算）
- ◎ クウェート分遣班
 - ・ CVコンテナ整理
 - ・ 銀行支払い
 - ・ 整備日
- ◎ バクダッドLO
 - ・ 情報収集
 - ・ 情報資料の送付
- ◎ バスラLO
 - ・ 情報要求対応及び定例情報収集
 - ・ 定例会議への参加
 - ・ 空路輸送調整
- ◎ スミッティLO
 - ・ 情報要求対応等
 - ・ 各種業務調整等
 - ・ 各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館LO
 - ・ 連絡調整：眼科患者輸送対応、来訪者調整等
 - ・ 情報収集：公電等

別表

雇用者 (10月16日)

区分		人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿當地外役務	医療	104	321	499
	学校修復	182		
	道路補修	0		
	青年・スポーツ関連	29		
	清掃事業関連	6		
	給水関連	0		
宿當地内役務	通訳	61	178	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	25		
	床屋	2		
	弁護士	1		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
	コンテナメンテナンス	5		
	耐弾性強化施設補修	20		

陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(10月16日成果/学校)

<p>アル・アーク男子小学校 アル・ナジャフ女子小学校(ルメイサ)(4/18~7月下旬) (施工遅延)</p> <p>活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・0名/日雇用</p> <p>活動状況 完成点検終了(手直し中)</p>	<p>アル・アーク小学校(ワルカ)(4/11~9月中旬) (施工遅延)</p> <p>活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・0名/日雇用</p> <p>活動状況 完成点検実施(10/11)</p>
<p>ネイサー中学校(ヒラル)(4/30~7月下旬) (施工遅延)</p> <p>活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・20名/日雇用</p>	<p>サルジュン小学校(サマワ)(6/20~9月下旬) (施工遅延)</p> <p>活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・28名/日雇用</p>
<p>アル・ホルト小学校(サマワ)</p> <p>活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・0名/日雇用</p> <p>活動状況 工事内容終了(完成点検結果待ち) 手直し工事中</p>	<p>サマワ工業高校(サマワ)(6/7~9月中旬) (施工遅延)</p> <p>活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・35名/日雇用</p>
<p>アル・ホルト小学校分校(サマワ) (7/8~10月上旬)</p> <p>活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・0名/日雇用</p>	<p>アル・ミサック中学校(サマワ)(4/2~9月中旬) (施工遅延)</p> <p>活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・34名/日雇用</p>
<p>アレマト小学校(サマワ)(4/25~7月下旬) (施工内容修正のため停止)</p> <p>活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・0名/日雇用</p>	<p>コルトバ小学校(ヒドル)(7/6~11月上旬)</p> <p>活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・45名/日雇用</p>
<p>サマワ看護学校(サマワ)(6/17~9月下旬) (施工遅延)</p> <p>活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・20名/日雇用</p>	

陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(10月16日成果/道路、給水関連施設)

ルメイサ市内路(9/1~9月上旬) (施工遅延)	
活動全般	・砂利舗装及び排水設備の補修 ・0名/日雇用
施工状況	概成のため

カカ水場の補修(カカ) (6/19~7月上旬)	
活動全般	・コンクリート等の補修 ・0名/日雇用

ムタワク橋の補修(スウェイル) (7/23~12月中旬)	
活動全般	・コンクリートビーム様の補修 ・0名/日雇用

サマワ市内道路(アッサダーカ道等) (竣工式待ち(RC完成点検済み))	
活動全般	・砂利舗装及びアスファルト舗装 ・0名/日雇用

サマワ市内道路(ブンリッハ地区道路) (竣工式待ち(RC完成点検済み))	
活動全般	・砂利舗装及びアスファルト舗装 ・0名/日雇用

陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(10月16日成果/PHC)

イヌガワPHC補修(カカ) (6/24~9月上旬) (施工遅延)	
活動全般	・壁、電気配線の補修等 ・13名/日雇用

カカPHC補修(カカ) (7/30~12月上旬)	
活動全般	・壁、電気配線の補修等 ・30名/日雇用

カカPHC補修(カカ) (7/12~10月中旬)	
活動全般	・壁、電気配線の補修等 ・0名/日雇用

マシツPHC補修(マシツ) (4/28~8月上旬) (施工遅延、竣工式待ち)	
活動全般	・壁、電気配線の補修等 ・0名/日雇用

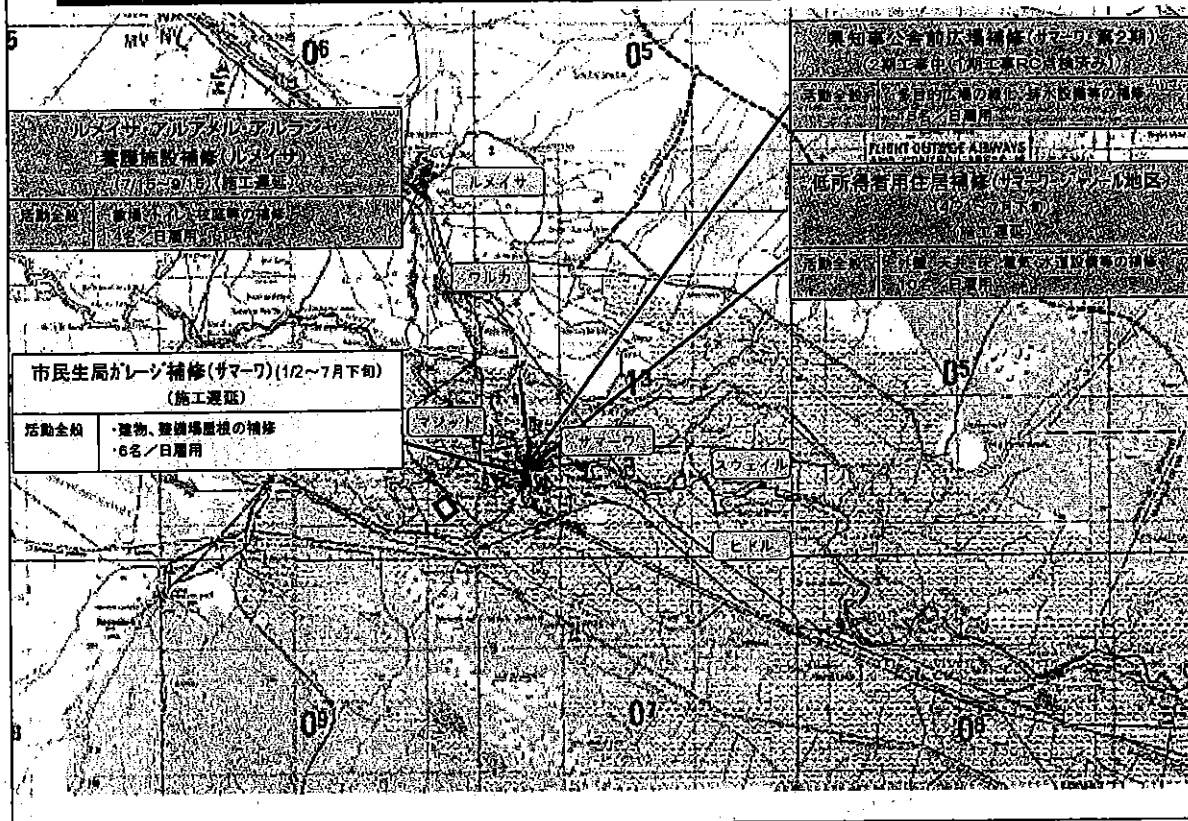
ラマPHC補修(マシツ) (9/5~11月初旬)	
活動全般	・壁、電気配線の補修等 ・22名/日雇用

ハサインPHC補修(サマワ) (6/16~8月中旬) (施工遅延)	
活動全般	・壁、電気配線の補修等 ・0名/日雇用

ヒドルPHC補修(ヒドル) (7/14~10月下旬)	
活動全般	・壁、電気配線の補修等 ・7名/日雇用

タラジPHC補修(タラジ) (5/20~8月下旬) (施工遅延)	
活動全般	・壁、電気配線の補修等 ・0名/日雇用

陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(10月16日成果/青年・女性・福祉・清掃事業、その他)



上段:増人員数
下段:減人員数

人員現況

区分	所属人員	サマーワ			クウェート			バグダット			バスラ			キャンプ・シティ			ドバイ			国外		国内		(備考) 総員の変化及び増減人員の変化	
		定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員				
7次支援隊	481	481	0 - 2	479	-	2 0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	481	-	-	以下2名 増減人員補正 サマーワ-KW	
7次警務 補遺隊	10	10	0 - 0	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-		
4次典支援	109	74	0 - 0	72	25	0 - 0	21	5	0 - 0	4	4	0 - 0	4	1	0 - 0	1	-	0 - 0	7	-	-	109	-	-	以下4名増減の要因 KW-3名 KW-3名LO1名職 力回復KW-1名 KW-3名 増減人員以下2名 KW-3名 増減人員以下2名 サマーワ-KW
合計	600	565	0 - 2	561	25	2 - 0	23	5	0 - 0	4	4	0 - 0	4	1	0 - 0	1	-	0 - 0	7	-	-	600	-	-	以下3名増減の要因 入隊典支援(4回)161 94名

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む

本日のTV電話使用者数: 1名、FOMA使用者数: 61名(第7次群TV電話合計: 58名、FOMA合計: 2324名)

装備の現況（車両等）

		車 両																計			
		小 型	中 型	救 急	軽 甲	高 機	W A P C	業 4	マ イ ク ロ	施 設	水 タ ン ク 車	燃 料 タ ン ク	冷 凍 車	セ ミ ト レ	大 型	特 大	浄 水 セ ツ ト		重 レ ッ カ	溶 接 車	修 理 車
IQ	サマーワ	13	10	2	43	19	6		1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	183
	シャイバ																				
	バスラ					1															1
	タリル																				
	バクダット																				
	計	13	10	2	43	20	6		1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	184
KW	キャンプVA	1			3	1		2	1						8						16
	キャンプアリアジャン																				
	計	1			3	1		2	1						8						16
総 計		14	10	2	46	21	6	2	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2	200

装備の現況（武器）

		武 器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
IQ	サマーワ							
	シャイバ							
	バスラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
KW	キャンプVA							
	キャンプアリアジャン							
	計							
総 計								

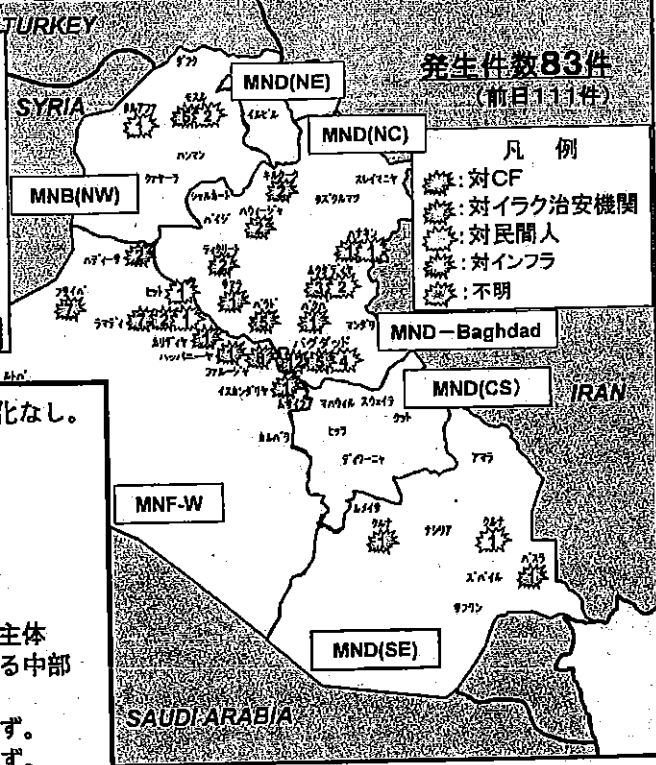
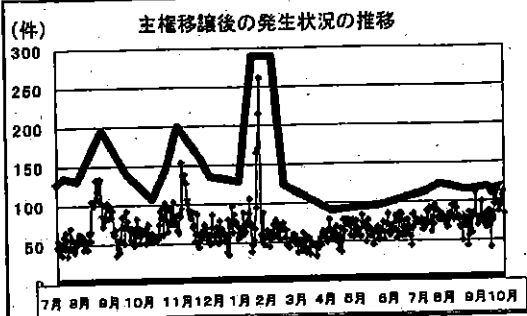
装備品等の可動・不可動の状況①

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	201	200	1	0	WAPC×1 底板亀裂	後送中×1(本邦)
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	2	2	4	発電機コンプレッサ冷媒漏れ×1 発電機コンプレッサ動作不良×1	後送中(クウェート)
コンテナスキャナー	2	1	0	1	定期整備完了に伴う受け入れ	
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	95	36	14	45	レギュレータ等不良×14	部品待×14
発動発電機(25kw)	67	44	11	12	ガバナ等不良×10 回転ケーブル不良×1	部品待×11
発動発電機(60kw)	59	47	2	10	燃料噴射ポンプ×2	部品待×2
発動発電機(180kw)	17	15	0	2		
ロードローラ	1	1	0	0	オイルクーラ亀裂	部品待(応急修理完了)
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良	後送中(クウェート)

装備品等の可動・不可動の状況②

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
浄水セット	官品	4	4	0	0	
	民生	2	2	0	0	
遠距離監視システム	昼用					
	夜用					
近距離監視システム						
近距離暗視装置(V7)						
微光暗視装置(V3)						
空中監視装置						

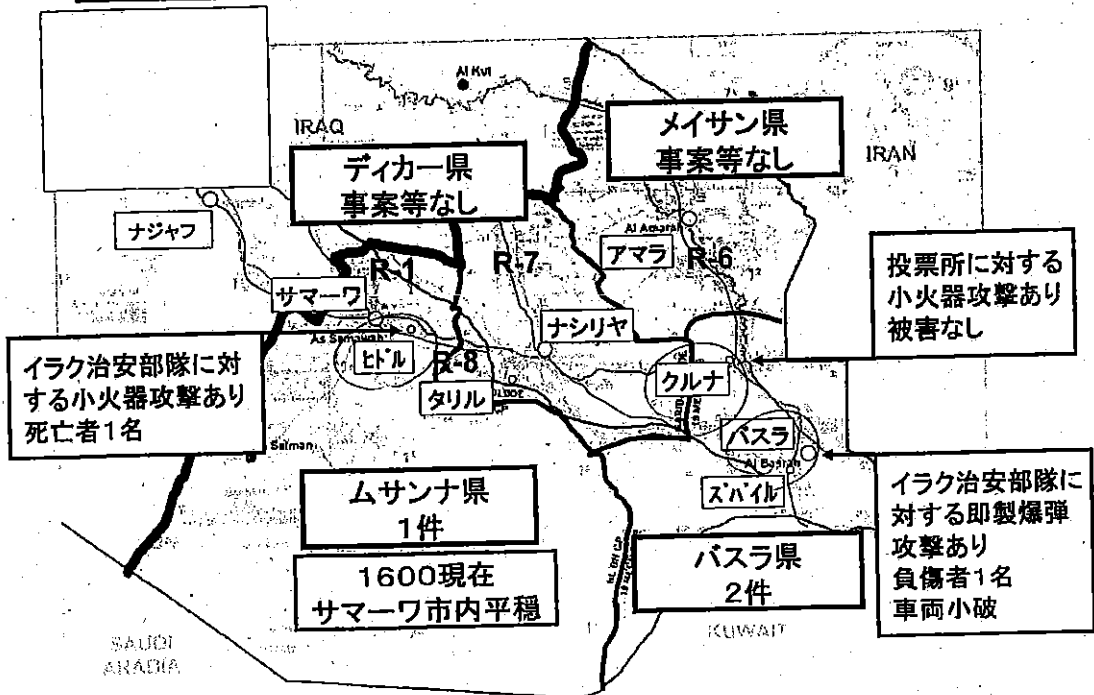
事案等の発生状況 (昨日)



- ☆ 全般としてイラク全土の不安定な情勢変化なし。
- ☆ 細部発生状況
 - 時期
 - 基地等: 昼夜間関係なし。
 - 移動部隊等: 昼夜間関係なし。
 - 手段
 - 基地等: 迫撃砲とロケット弾が主体
 - 移動部隊等: 即製爆弾、RPG及び小火器が主体
 - 地域別状況: バグダッド地域を中心とする中部一帯及び西部で活動活発
 - 中南部地域: 比較的安定、但し油断できず。
 - 南東部地域: 比較的安定、但し油断できず。

(15.0700~16.0700現在)

事案等の発生状況 (15日0700~16日0700)



金曜礼拝(10.14)の状況-1

【金曜礼拝の状況】

○アル・グレイブモスク:サマーワ市内(サドル派)

- 説法者:ザルガニ師(約500名)
- 内 容:サドル師のメッセージ:「バース党を認める新憲法に反対する。バース党が人々を殺したり、苦しめたりしたことを許すことは出来ない。憲法に反対」を伝達
- デ モ:金曜礼拝後、同モスクからサドル派事務所へ「憲法及びバース党」に反対するデモを実施。ザルガニ師をはじめとするサドル派約400名が参加。特に混乱等なし。

○アル・マフディモスク:サマーワ(サドル派)

- 説法者:ヤグビー師(約150名)
- 内 容:投票へ行こう(賛否に関する言及なし)

○アル・メディーナモスク:ルメイサ(サドル派)

- 説法者:アドナン師(約3000名)
- 内 容:新憲法を支持し、投票には必ず行き、賛成の意思を示そう

○アル・サマーワモスク:サマーワ市内(サドル派穏健派)

- 説法者:アワディ師(約250名)
- 内 容:・憲法反対は自由だが、反対を命じることは出来ない。この憲法はシーア派を自由に向かわせる。
・シスターニ師は憲法に満足してる。憲法賛成、自由賛成。

金曜礼拝(10.14)の状況-2

○マムラハモスク:サマーワ郊外(サドル派)

- 説法者:ホセイン師(約80名)
- 内 容:明日の投票へ行こう。我々は良いイラクを作るために憲法を支持しよう。

○アル・ジャシールモスク:サマーワ市内(スンニ派)

- 説法者:サミール師(約60名)
- 内 容:ラマダン及びイスラム教についてのみ

【評価】

○憲法反対の発言は、アル・グレイブモスクにおけるザルガニ師のみ。
⇒「サドル師のメッセージ」としているが、事実か否かは不明。(ルメイサのモスクでは、憲法支持の発言あり)

○サドル派が憲法草案を受け入れず、国民投票不参加を訴えるデモを実施したが、ムサンナ県のサドル派としての動きとは考えられないことから、一種の示威行動の可能性もある。

憲法国民投票(10.15)について-1

注意

【投票所等の状況】

- 0755頃、マジットの投票所に1500名が投票に来ている。投票所では安全が保たれている。
- 0800現在、ムサンナ県で投票を開始したが人数はまばら。
- 0900頃、西イラク警察検問所付近に投票所への輸送用バスが多く停車。人も多く集まってきているが平穏。
- 0945頃、バトハ市の投票所は異状なし。
- 1020頃、バスラ・クルナの投票所付近で部族間抗争が発生。投票所は一時閉鎖したが15分後に再開。発生場所は部族抗争頻発地域であり、抗争理由は国民投票に関係なし。
- 1025頃、サマーワの投票所では整斉と投票が行われている。周囲の人は賛成投票を行ったとの声が多い。
- 1030頃、アルムサンナ中学校での投票は整斉と行われていた。サドル派の間は反対投票をすとの噂があった。
- 1050頃、サマーワ市内は車が動いていない。市民は本日の投票で憲法が決まることを喜んでいる。
- 1055頃、ナシリア市内の投票所は異状なし。各通りは投票所に行く人であふれている。
- 1100頃、ムサンナ県の投票所4か所で200名の行列。
- 1200頃、ムサンナ県の投票所4か所で200名の行列。1分間に4人投票のペース。

憲法国民投票(10.15)について-2

注意

【治安関連】

- 0900頃、宿营地付近の検問所のチェックは厳正に行われている。
- 0945頃、バトハ市は通りをイラク警察、市街地中心をイラク陸軍、投票所付近は施設防護隊が展開警備中。
- 1018頃、ナシリア市内平穏。イラク警察、イラク陸軍のみが展開していた。
- テロ関連情報
 - 0800現在、イラク陸軍はムサンナ県で女性による自爆テロ及び車両爆弾攻撃を計画しているグループに関する情報をPJOC(県統合作戦センター)へ提供。
 - 1005現在、サマーワ市内に自爆ベルト×10が持ち込まれ、投票所における爆破が企図されている可能性がある。
 - ルメイサ市内に車両爆弾×5(オペルオメガ×3、キア×2)が存在する可能性がある。

【報道関連】

- 憲法の修正により、スンニ派の大量ボイコットはない見込み。
- 国民投票は平穏に行われている。

【評価】

- 投票は整斉と行われ、1700投票終了後、現在まで大きなトラブルはないものとみられる。
- 投票者は徒歩又は準備されたバスにより投票所へ移動しており、また、サマーワ市内には車がないとの情報から車両通行規制は徹底されていたものとみられる。
- 国民投票を妨害するテロ等の事案は発生していないとみられ、イラク治安部隊の厳正な勤務ぶりや警備区域を明確に分けた勤務状況に関する情報から、現時点においてイラク治安部隊は治安維持の機能を果たしているものとみられる。

サドル派民兵による英軍・日本隊への脅威情報について-1

注意

【サドル派民兵、狙撃銃による英軍兵士攻撃を命令(サマーワ)】

○概要

14日、サドル派民兵メンバー数名が、不必要な民間人死傷者を減らすため、狙撃銃を使用し、英軍兵士のみを攻撃するよう命令を受けた。

○分析

- 単一の情報源であるため、正確性については評価できないが、過去の報告から、サドル派民兵は本地域においてドラグノフ7.62mm狙撃銃×4を保有していると思われる。
- 英軍兵士のみを攻撃せよとの命令は、最近、拘置所で行われているファルツシ(FARTUSI)(注 バスラで拘留中のバスラサドル派民兵前リーダー)釈放を求める活動の一部と考えられる。
- 部隊は、危険地点のクリアランス間下車時が最も脆弱と考えられる。
- サマーワの英豪軍は依然、増大した狙撃手の脅威に対し警戒しており、特に下車時、明白でありよく使用する危険地点を徒歩で通過する際に注意。
- 本情報は、人的情報が脅威情報になったもの。
サドル派民兵は14日、狙撃銃×2をジャムフーリ地区の家屋に移送。

サドル派民兵による英軍・日本隊への脅威情報について-2

注意

【サドル派民兵、日本隊攻撃を計画(サマーワ)】

(注 資料源の信頼性・情報の正確性の評価は最下級)

○「RPG・小火器を携行したサドル派民兵メンバーが13日1845頃にユーフラテス道上でパトロールをしている日本隊に対して攻撃を実施」との情報

○サドル派民兵は国民投票前後の移動規制により、上記13日の攻撃を保留していたが攻撃日を変更し16日又は17日に設定。

○サドル派民兵は12日、使用する武器をジャムフーリ地区の家屋に移送。

【評価】

- 英軍兵士攻撃に関する情報は、バスラ事案に関連したものと考えられるが、サマーワにおいて攻撃を実施する必要性や価値については疑問がある。ただし、9月16日、サマーワ市内で英軍兵士が小火器射撃を受けており、英国に対する不満から、英軍兵士に対する攻撃が行われる可能性はある。
- 日本隊攻撃に関する情報は、資料源の信頼性・情報の正確性の評価は最下級であるが、豪軍が当該区域への立入禁止を継続していることから豪軍が多国籍軍攻撃に関し本情報の確度は高いととらえているとも考えられる。
- サドル師の政治路線を受け、サドル派民兵の暴力的行動の公算は小さいと考えられるが、国民投票直前に新政府メンバーから旧パース党員を除外しないよう憲法が修正されたのに対し、サドル派民兵が反発し、憲法反対の姿勢を示し、旧パース党関係者を襲撃していることから、サドル派民兵のはねっかえりを中心に活動を活発化している可能性もある。
本情報は任務、時期、場所について日本隊の活動状況と合致しない部分があるが、攻撃目標として日本隊を特定していること、武器保管場所に関する具体的な情報があることから、日本隊に対する攻撃の動きが存在する可能性も否定できないため、引き続きサドル派民兵の動向について情報収集する。

イラク全土の全般情勢評価 (10.16)

~~注意~~

(10月9日以降変化なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に、中北・西部において多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃が継続 ●新政権発足後も攻撃件数は依然高い水準を維持 ●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性 ●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性 	8/26追加 8/8追加
スンニ派 過激派	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安機関・移行政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサル・スンナとザルカウィGpが共闘の可能性 ●ザルカウィ関連Gpの活動が活発化 ●シーア・スンニ宗派間対立を企図したテロ発生の可能性 	9/15追加 9/1追加
FRE	●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける	
国際テロリスト	●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	
サドル派	●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施	
トレンド (特異事項)	●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引)	9/1追加

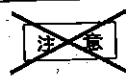
イラク南東部の全般情勢評価 (10.16)

~~注意~~

(10月9日以降変化なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定→アマラ、バスラで多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃発生 ●メイサン県に存在すると考えられていた即製爆弾攻撃ネットワークがバスラ県に活動を拡大した可能性 ●バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性 	8/17追加 9/27追加 9/20追加
スンニ過激派 国際テロリスト FRE	<ul style="list-style-type: none"> ●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●バスラ・メイサン県で即製爆弾増加傾向 	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 ●バスラの状況が周辺地域のはねっかえりに影響を及ぼす可能性は否定できない。 	8/28追加 10/9追加
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> ●即製爆弾・車両爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出しカージャックがMSRタンパ、ASRサークル上で発生 ●ASRサークル路面状況悪化(タンパは開通予定延期) ●移動中のコンボイに対する車両爆弾の可能性 	7/23追加 7/22追加
タリルAB	●空港への曲射撃及び離発着航空機に対する攻撃に警戒	9/30追加
トレンド	南東部における電波指令式即製爆弾が増加	

ムサンナ県の全般情勢評価 (10.16)



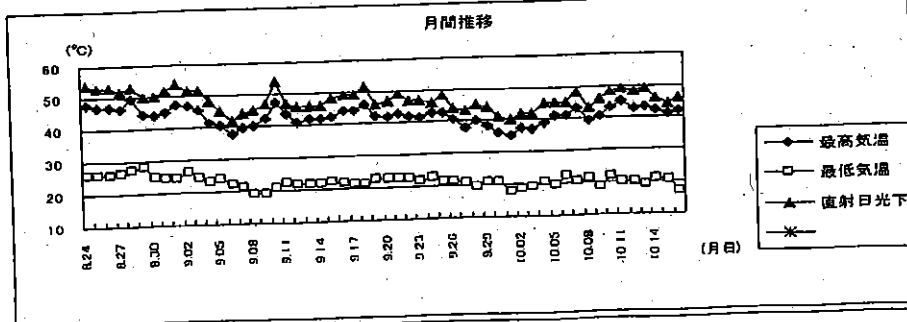
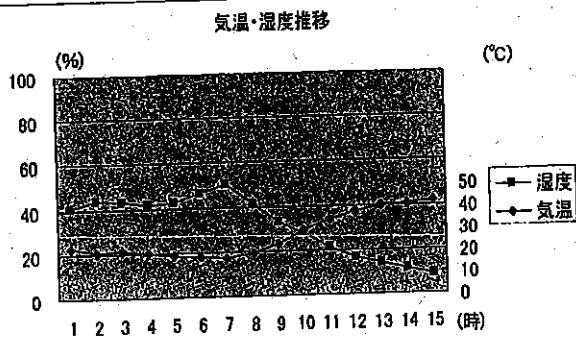
(10月9日以降変化なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ● 比較的安定、しかしながら油断は出来ず ● 知事、前評議会議長の動向等、政治情勢は依然流動的 ● イラク治安部隊の治安維持能力が向上しつつある。 	9/30修正 10/9追加
スンニ過激派 国際テロリスト	● スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための存在あり	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ● サドル派が知事との対決姿勢をやめた可能性 ● バスラの影響により、はねっかえりが多国籍軍、イラク警察等に対する攻撃を行う可能性は否定できない。 	9/17追加 10/9追加
部族関連	宿营地警備等の雇用の増大を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報	7/7追加
デモ関連	● 電気、水、ガソリン等の比較的良好的な状況が継続し、気温も低下してきていることから、デモ発生の公算は低下していると考えられるが、雇用要求等のデモ発生の可能性はあり、知事辞任要求のデモ発生の可能性についても依然存続	9/8修正

現地の気象情報

報告内容

日の出 : 0602
 日の入 : 1727
 月 齢 : 12.9
 月出沒 : (出16日1649~没17日0542)
 天 候 : 晴れ
 気 温 : 最高41.7 最低17.0°C
 : 最高46°C(直射日光下)
 湿 度 : 32.1%
 風 速 : S0~1m/s



10月17日(月)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1	群長の行動 J1:来訪者対応 アル・ホルード小学校(分校)現地視察	0830	陸幕長報告	
		0850		
		0850	J21、J101行動指導及び行動証明決裁	
		0700		
		0800	群朝礼	
		0810		
		0815	作戦会議	
		0830		
		0830	宿営地内勤務	
		1030		
		1030	J1、J22、J102行動指導及び行動証明決裁	
		1040		
		1100	来訪者対応(出迎え、状況報告、写真撮影、会食等)	
		1320	宿営地 発	
		別示	アル・ホルード小学校(分校) 着(サマーワ) アル・ホルード小学校(分校) 発(サマーワ) 宿営地 着	LAV(G)×5 高機(G)×1
		1430	来訪者対応(懇談、表彰式、記念撮影、見送り等)	
		1530		
		1530	来訪者対応	
1610				
1610	活動命令(案)決裁			
1620				
1620	デイリーミーティング			
1650				
1715	電話会議			
1745				

10月17日(月)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J2	業務支援隊長の行動 J2:来訪者対応 アル・ホルード小学校(分校)現地視察	0745	隊朝礼	
		0800		
		0800	群朝礼	
		0810		
		0815	作戦会議	
		0830		
		0830	宿営地内勤務	
		1100		
		1100	来訪者対応(出迎え、状況報告、懇談、会食等)	
		1320	宿営地 発	
		別示	アル・ホルード小学校(分校) 着(サマーワ) アル・ホルード小学校(分校) 発(サマーワ) 宿営地 着	J1に同乗
		1430	来訪者対応(懇談、見送り等)	
		1520		
		1530	来訪者対応	
1610				
1620	デイリーミーティング			
1650				
1650	隊デイリーミーティング			
1705				
(J2)	対外調整(ワルカ付帯道現地偵察)	別示	宿営地 発 ワルカ付帯道(アルムエサル) 着(ワルカ) ワルカ付帯道(アルムエサル) 発(ワルカ) ワルカ付帯道(アルハルダ) 着(ワルカ) ワルカ付帯道(アルハルダ) 発(ワルカ) 宿営地 着 宿営地 発	LAV(G)×4 高機(E)×1
(J22)	対外調整(アル・ホルード小学校現地視察準備)	別示	アル・ホルード小学校(分校) 着(サマーワ) アル・ホルード小学校(分校) 発(サマーワ) 宿営地 着	LAV(G)×3 高機(G)×1

10月17日(月)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J101	ルートチェック	別示		
J102	ルートチェック	別示		
J201	GRF(A)			
J202	GRF(B)			
S6☆	役務準備員配置	0530～	宿営地～運河警戒位置～宿営地	
		1130～		
		1830～		
S11☆	警衛			

10月17日(月)の活動予定

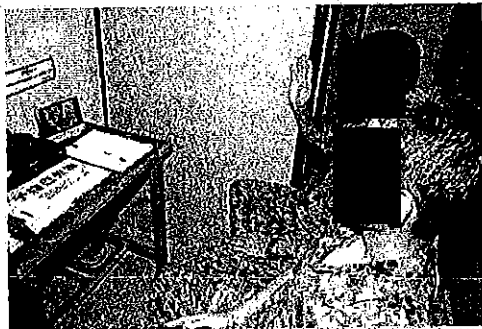
コール	行動名	時程	活動内容等	車両	
S12☆	浄水活動(運河)	0730～1200	大量送水システム点検・運転	LAV(H)×1	
S13a	宿営地内工事、作業	0800～1200	宿営地散水		
S13b		0800～1600	ゴミ回収		
S13c		0800～1600	尿尿汲み取り		
S13d		0800～1600	冷凍コンテナメンテナンス		
S13e		0800～1600	発電機再配置(～8次群へ)		
S13f		0800～1600	宿営地内側清整備(～20日)		
S13g		0800～1600	雨水樹液漏工事(～18日)		
S13h		0800～1600	20tコンテナ移動(～18日)		
S13i		0800～1600	第2回現況調査(～21日)		
S13j		0800～1600	定期交換		
S13k		0800～1600	出島地区放送スピーカー及び接続線の改修		
S15		群主力の行動	0800～0810	群朝礼	
			0830～1600	宿営地内活動	
S16	空中監視活動	17日 0730～ 18日 0730～	空中監視活動		

10月17日(月)の活動予定

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍コンテナ積載 ・コンボイ準備 ・ACSA調整 ・サマーワ患者(眼科)対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・定例情報収集 ・定例会議への出席 ・空路輸送調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・各種業務調整 ・ミーティング等参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集

別紙第1

宿営地内活動(16日)



家族にTV電話を行う隊員



郷土料理(牛もつスタミナ汁)をほおぼる隊員



少しの時間を利用しての体力錬成



[Redacted]

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項

[Redacted]

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項
 - 今後、[Redacted] 承知せよ。
 - 明日の訪問者対応について、[Redacted] 柔軟に対応できるようにせよ。また、[Redacted]
 - バスラ正面では、知事と英軍との間での関係修復、これを阻むJAMの“はねっかえり”の動き等がある。承知せよ。

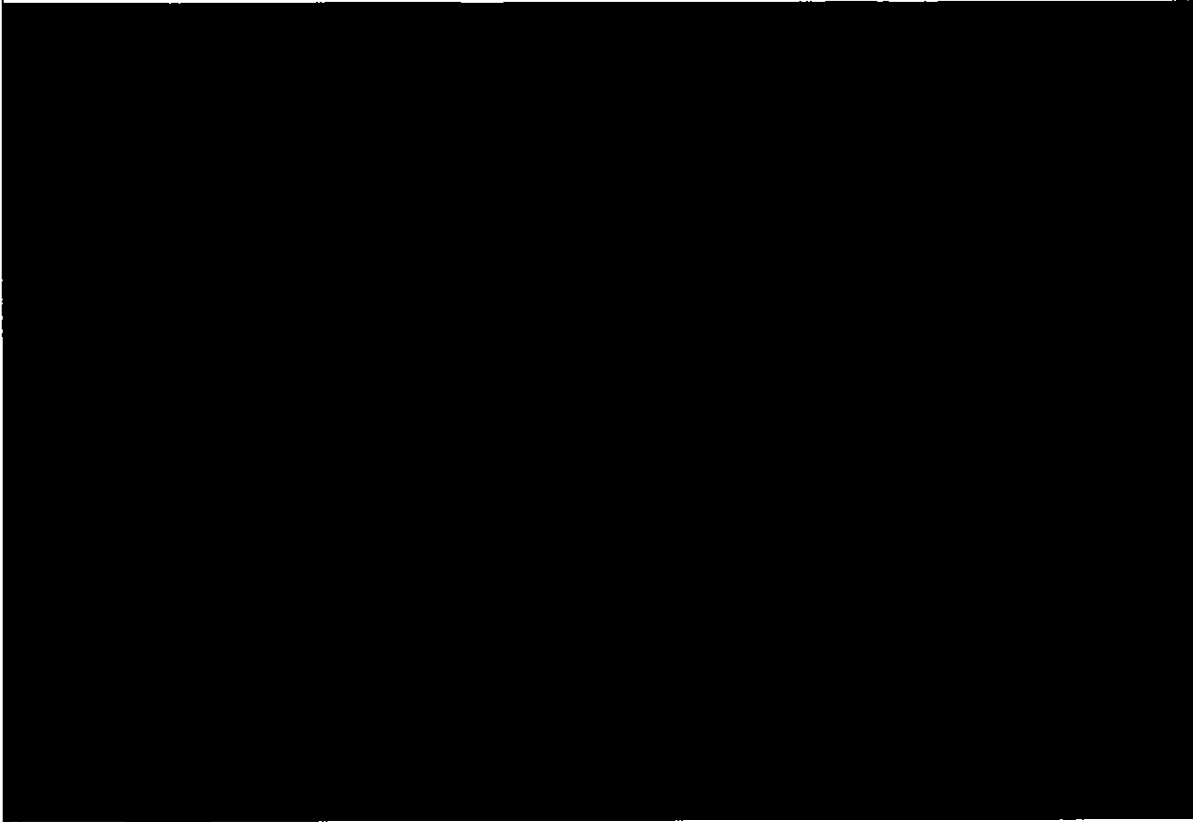


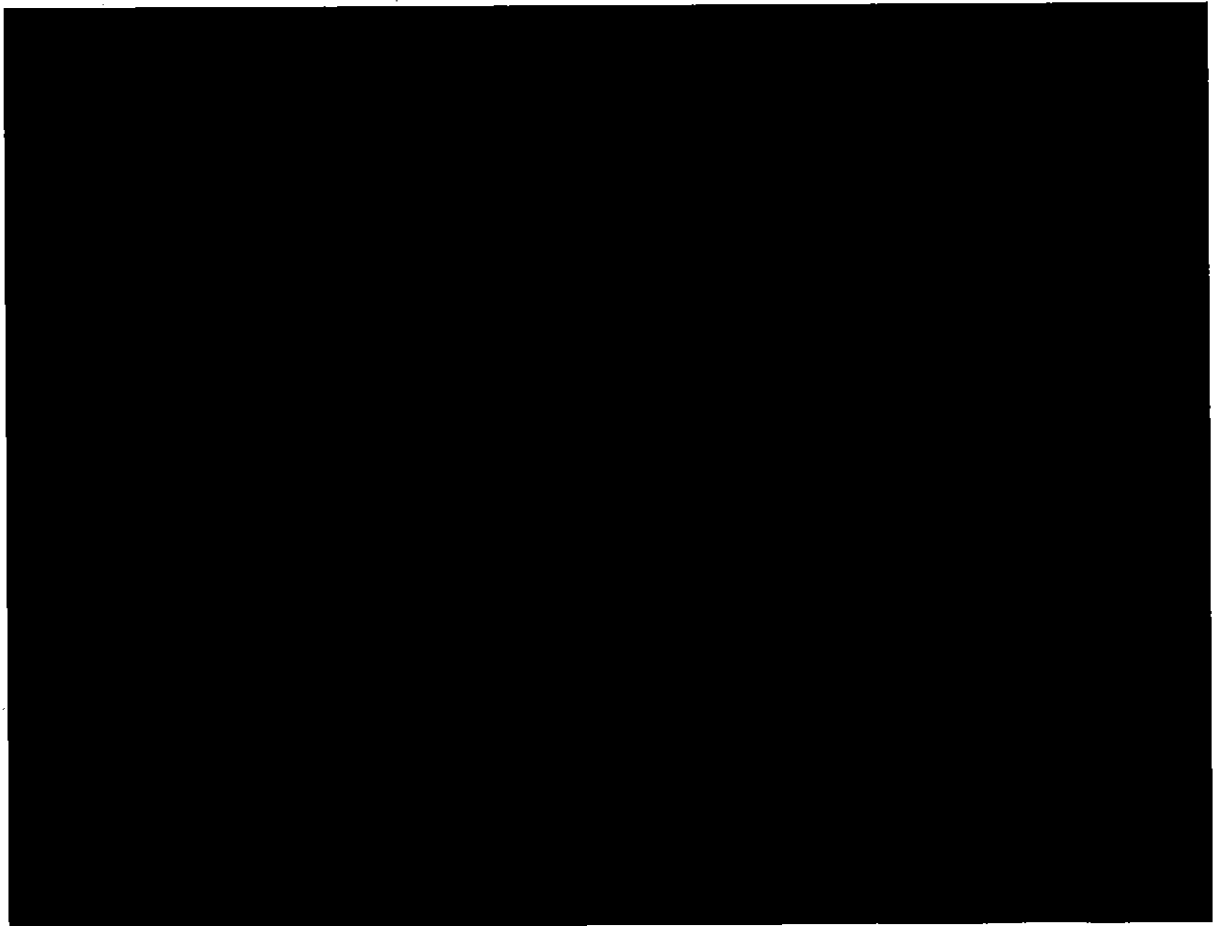
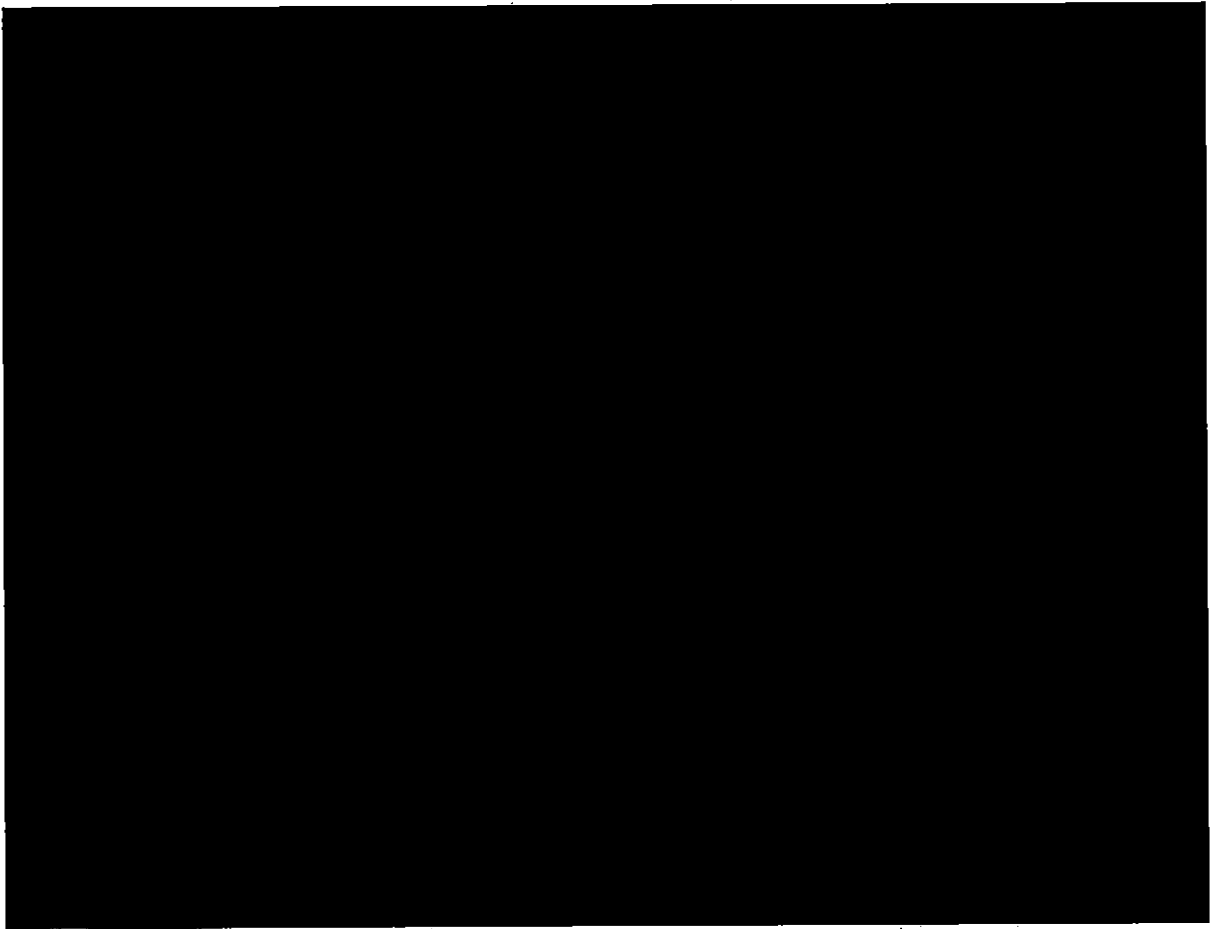
バグダッドLO日々業務報告(10月16日1900)

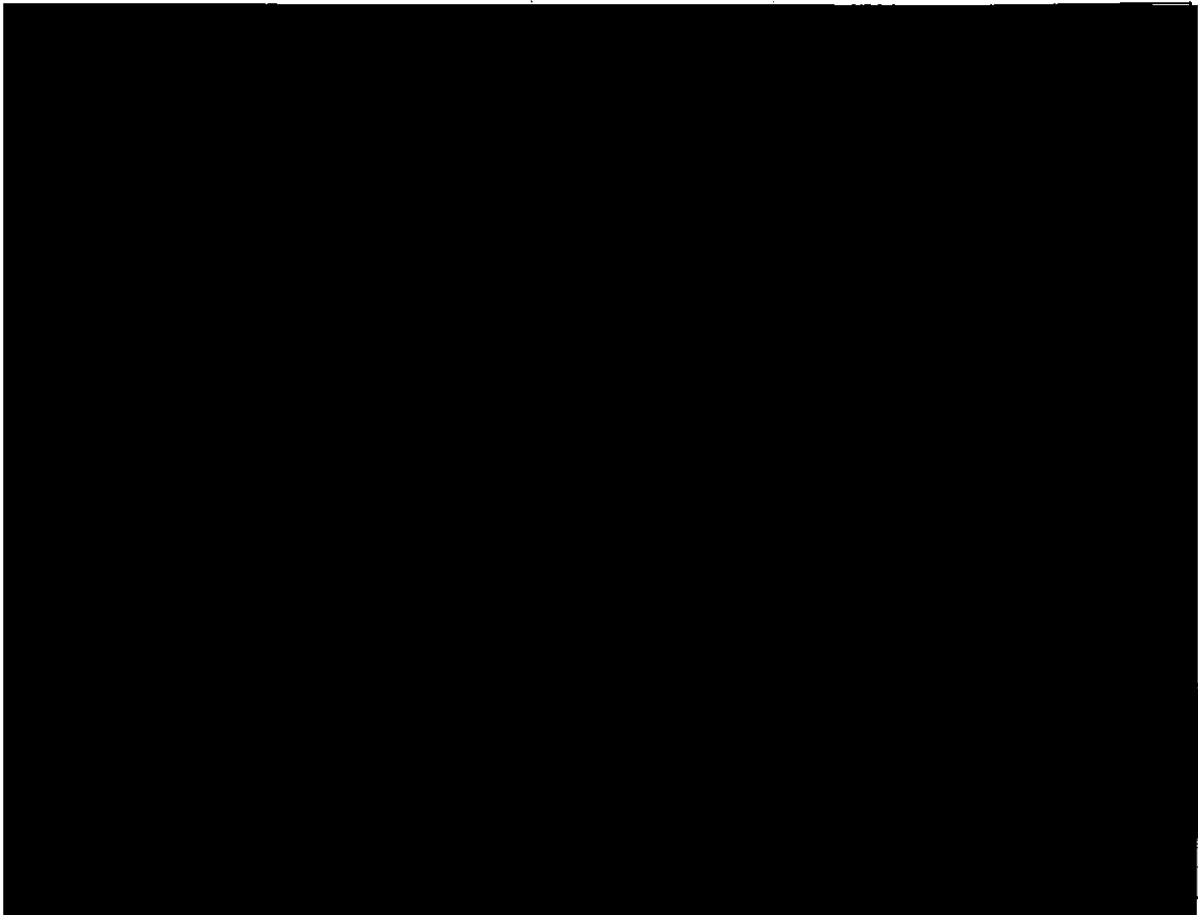
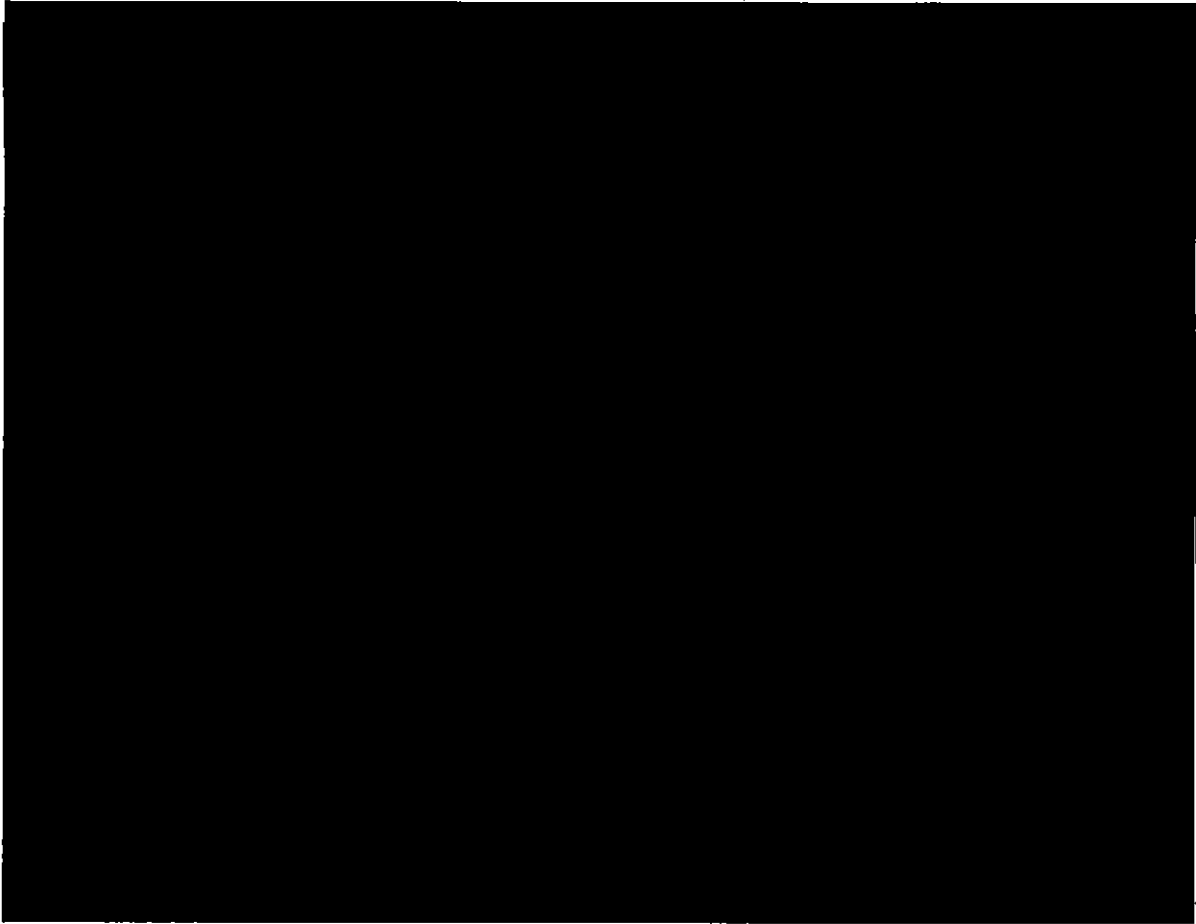


区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 [Redacted] (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [Redacted]、バグダッド及びモスルは [Redacted]、ラマディは [Redacted]
2 特記事項	[Redacted]
3 本日の業務	情報収集及び情報資料の送付等
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	[Redacted] 戦力回復(10月12日~10月21日)

現在の状況







バグダッド 日誌 (10月16日)

○コアリション・オペレーション「ソフトボール」

本日、新旧コアリション事務所長以下コアリション事務所のスタッフ及び各国LOの親善ソフトボールが厳戒態勢の下開催され、全員で参加した。

試合開始の正午から3時まで、炎天下で2試合続けてのタフな親善ゲームであった。海兵隊の [] は終始主審をつとめて健在ぶりをアピールしていたが、年輩者の中にはハッスルしすぎて肉離れぎみになって戦線を離脱する者が散見された。日米韓以外は殆どがルールを知らないという状況下で珍プレー続出の試合終了後は、全員で記念撮影、最後に円陣を組んで歓声をあげて、大いに懇親を深めることができた。

野球を知らない某国LOからは「投げてよし、打ってよしの日本人の活躍でドリームゲームになった。」と賞賛を受けた。



バスラLO日々業務報告(10月16日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [] [] (警戒態勢): []
2 特記事項	[]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE) の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集: [] (3) 定例会議への出席: 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議、 (4) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整
5 その他(備考)	



バスラ日誌 (10月16日)

- 1 [redacted]上で写真データを検索していたら [redacted]とファイル名が付いた写真を発見。一体どんな写真なのかと思って見たら、ごく普通の明るく笑った子供達の写真でした。撮影者が偶然そういう物の見方をするだけだったのかも知れません。ジョークかもしれない。しかし、イギリス人を見ていると有色人種や異文化をそのようにとらえる傾向が存在することは否定できないなと感じることがあります。かつて日の沈まない大帝国を築き上げた功利主義とプライド(差別意識?)は、彼等にも受け継がれているのかも知れません。浪花節など関係なし。イラク人がどうなろうと関係なし。不必要・不利益なものはスパッと切り捨てる。そういうドライさが彼等の強みなんだろうなと感じました。(当然、日本人のいい人もいますが...)
- 2 同 感(これがイギリス人がイラク人に嫌われる(サマワ研修ゲート勤務時イラク人通訳から聴取)一つの理由かもしれないと感じました。)



スマッティLO日々業務報告(10月16日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし: [Redacted] Threat Level [Redacted]
2 特記事項	特になし。
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市内及び近郊の治安情報の収集、TFムサンナのIED対処要領、豪軍のOP・パトロールの状況 (2) 各種業務調整等 在バスラ英国外務省チーフのサマーワ宿营地訪問の件、POLAD、MP、CIMICのスマッティ訪問の件(23日)、休暇間の申し送り資料の作成 (3) 各種ミーティング等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	(1) 明日の英・豪軍等の射撃 Range3 1300-1800 [Redacted] (小火器) (2) 明日の英・豪軍等の陸自宿营地訪問 在バスラ英国外務省チーフ(1530-1610予定)、豪軍エスコート部隊(1430予定 [Redacted] のピックアップ)

クウェート分遣班業務報告

17.10.16

全 般

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 国内情勢等: [Redacted] <input type="checkbox"/> 人員・武器等異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告: 所属人員24名、事故人員4名(サマーワ研修×2、戦力回復×2)、現在員20名 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 天候: 晴れ <input type="checkbox"/> 気温: 7時: 38.3°C 11時: 51.4°C (直射日光下の最高気温: 52.3°C) |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

本日の行動

恒常業務・その他

- CVコンテナ整理
- 銀行支払い

明日の予定

恒常業務・その他

- 冷凍コンテナ積載
- コンボイ準備
- ACSA調整
- サマーワ患者(眼科)輸送

その他(教訓・要望事項等)

クウェートLO日々業務報告(10月16日1900)

区分	内容	
1 警戒態勢等	警戒レベル部分引下のまま () (1) 国家公安部、石油関連施設、大使館等重要防護施設防護部署及び国境警備隊等部署：警戒強化中 (2) 日本国外務省渡航安全情報(危険情報)：クウェート全土「十分注意」()	
2 特記事項	なし	
3 本日の業務	大使館	CFLCC
	(1) 連絡調整等 ア サマワ眼科患者移送対応 イ 8次群アラビア語講師 コンタクト要領調整 ウ 無税通関証明申請 エ 無税通関証明申請 (2) 情報収集特記事 ア () イ 新聞会議等 インターネット 『与党でサマワ視察検討 自衛隊の派遣延長問題』 公明党の冬柴鉄三幹事長は16日のNHK番組で、イラクへの自衛隊派遣延長問題について「去年は(自民党の武部勤幹事長とイラクに)2人で行き、非常に安定した治安状況だったから、もう一度延ばそうと判断した。(今年も)そういうことになるかもしれない」と述べ、自衛隊が駐留する南部サマワの治安情勢を確認するため、与党で現地視察を検討する考えを示した。 武部氏も「さまざまな角度から実情、実態を把握する必要がある」と応じた。 (共同通信) - 10月16日13時11分更新	(1) 連絡調整等 () ア 特記事項無し (2) 情報収集 アップデートミーティング 特記事項無し
4 明日の予定	(1) 連絡調整等 訪問者調整・大使館員キャンプアリアジャン研修調整 (2) 情報収集： ()・新聞会議	(1) 連絡調整等 訪問者調整・大使館員キャンプアリアジャン研修調整 (2) 情報収集：アップデートミーティング
5 その他(備考)	なし	